

< 編集後記 >

季節が秋から冬へとかわり、寒さが厳しくなってきました。今年はイラク戦争やSARS騒動などがあり、あらためて安全について考えさせられる年でした。

「Salon」にも関連しますがSARS対策では、インターネットが最新情報の伝達に大活躍しました。

この冬は、インフルエンザや風邪に対してしっかり予防して、健康にすごしたいですね。人だけでなく、コンピュータウィルスに対する予防も大切です。ここ数号は、センターニュースにもセキュリティ関連の話題が多数掲載されています。

今回も「NICEの動き」や「利用者向け講座」での情報提供をしています。これも、世の中のセキュリティに対する関心の高さを反映したものです。コンピュータの世界も世知辛くなってきました。

白井先生にはバイオインフォマティクスに関して、とても興味深いお話をお寄せ頂きました。情報系の研究分野に携わる一員として「実験系から認められない」という共通の悩みに私もつい頷いてしまいました。

さて、名古屋大学情報連携基盤センターが改組されて、1年半以上が過ぎ、センターニュースもVol.2の最後の号となりました。今年から始めたセンター内の部門紹介も今回で一巡し、センター内の体制もポータル構築などを中心に、まとまりつつあります。来年度は国立大学法人化があり、とりまく環境が急速に変わる中、センターニュースも常にニーズに応じて変化したいと思います。

ホームページでは、いつでもセンターニュースに対するご意見を受け付けています。是非ともご意見・ご感想をお寄せください。

(<http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/pub/news.htm>)

(N.K.)